

国際学会派遣フェローシップ 2025 年度（後期）分の募集について

2025 年度・後期の国際学会派遣フェローシップ（以下「フェローシップ」と記します）による助成希望者の募集を行います。フェローシップは、「国際学会派遣フェローシップ規程」に基づき、日本国外において開催される法社会学関係の国際学会の学術大会で研究報告を行う初期キャリア研究者に、渡航旅費の一部を支給することを内容とするものです。

2025 年度・後期（開催日かつ渡航日が 10 月～3 月にかかるもの）に開催される法社会学関連の国際学会での研究報告を予定されている会員で、原則として 35 歳以下の方は、フェローシップによる助成に申し込むことができます。ただし、応募時に 36 歳以上であっても、研究者としてのキャリアをスタートした時点が遅い等の特段の事情がある場合には、応募する資格を有しますので、該当する可能性のある方は事前に国際委員会までご相談下さい。なお、応募時点までの会費を納入していることを応募の条件とすることにご注意下さい。

フェローシップによる助成対象者には、助成対象の国際学会において研究報告を行うことのほか、成果報告書の提出、国際学会への参加を証明する書類の提出、助成対象研究報告の内容について日本法社会学学会学術大会で報告をするよう努力すること、および、助成対象研究報告の内容を論文として刊行するよう努力すること、が義務付けられます（国際学会派遣フェローシップ規程参照）。

助成を希望する方は、学会ウェブサイト (<http://jasl.info/>) に掲載されている申込用紙をダウンロードし、必要事項を記入の上、ファイルをメールに添付し、国際委員会 (jasl-intl@list.waseda.jp) までお送り下さい。締切は **2025 年 8 月末日** です。

助成対象者は、国際委員会が審査の上で決定し、本人宛にメールで通知します。

たくさんの会員からの応募を期待しております。

日本法社会学学会国際委員会